



# 瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部  
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



今日のみことば

年間第27主日 A年(2023年10月8日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：イザヤ書 5章1—7節

第二朗読：フィリピの信徒への手紙 4章6—9節

福音朗読：マタイによる福音書 21章33—43節

## 貸したぶどう園

三つの朗読から

第一朗読にある「良いぶどう」という表現に心を留めましょう。ぶどう畑の主人が植えたのは「選りすぐり」のぶどうでした。しかし、彼が望んでいたのは「ぶどう酒」がつかれるほどのごく普通のぶどうの実だったのです。主人の望みとは裏腹に、実ったのは「腐った、酸っぱい」ぶどうでした。

第二朗読の「わたしから学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たこと」(9節)が響きます。パウロが示したのは、主イエス・キリストに基づく生き方です。主イエス・キリストの生き方、あり方がわたしたちの生きる規範となります。キリスト者はキリストが生きたように生きるのです。

福音朗読にある「わたしの息子なら」という主人のことは切実です。大事な息子を送っても農夫たちとの関わりを築きたいぶどう園の主人の思いを伝えています。

ひとこと

ぶどうの実が実るまでは大変な労力が必要となります(第一朗読)。しかもそれを惜しげもなく農夫に貸し出す主人です(福音朗読)。人間に関わり、人間に委ねていく父なる神の姿が表れています。そして、第一朗読でも福音朗読でも、人間には、自分たちこそが救われるのだという思い込みが見られます。こういった思い込みこそが、神さまと向き合っていない原因となっているのではないのでしょうか？

## おしらせ

10月29日は、「ロザリオ祭」として、ミサの時間は7時と10時半だけです。

アントニオ会館の庭でミサをささげて、軽食を楽しみましょう。

帰天された方々のために祈りましょう。

11月は「死者の月」です。

瀬田教会では、以下の要領<sup>ようりょう</sup>で亡くなられた方々のために祈りをささげます。

### 帰天された方々のためのミサ

11月5日(日)、年間第31主日のミサ(司式:元田神父さま)の中で、すべての亡くなられた方々のために、みんなで一緒に祈りをささげます。

祈りをささげたい方々のお名前を、聖堂後ろに用意してあるカードにお書きください。何名様でもけっこうです。

カードを封筒に入れて、当日のミサにおもちください。

ミサの中で祭壇<sup>ほうのう</sup>に奉納し、お祈りをささげます。

(当日ミサに参加できない方は、封筒を主任司祭にお渡しください。)

### 帰天された方々のための意向ミサ

11月中の週日のミサで、亡くなられた方々のためのミサを個別にささげます。

ご希望なさる方は「ミサ奉納金」の封筒に依頼者名、依頼者住所、意向をお書きになって、主任司祭に手渡ししてください。



主任司祭 小西広志神父